

タイトル チャンク音読を可能にする英語 e-learning 教材開発				
分野	キーワード	① e-learning	② チャンク音読	
情報・通信				
研究者氏名: 湯舟 英一 (所属: 総合情報学部総合情報学科)		[お問い合わせ先] TEL: 049-239-1458 メールアドレス: yubune@toyo.jp		

【概要】

Adobe 社の Flash を用いて、英語のリーディング教材のテキストやリスニング教材のスクリプトをチャンク単位で順次音読やシャドーイング訓練ができる Web 教材の開発

【研究内容】

2012年 TOEIC 問題演習を通して英語音声変化の聞き取り練習ができる英語初級者用教材を刊行し、英語の音声変化の中でも日本人学習者にとって理解の妨げとなっている、短縮形、音の連結、無開放破裂音、同化、弱化の聞き取りをユニット毎に集中して学習できるよう工夫した。全ての問題は Focus on form のインプット洪水を具現化すべく、ターゲットとなる音声変化が正しく聞き取れないと正解できないようになっている。

この教材を基に、Web 上で音読訓練ができる e-learning 教材を作成した。このインタラクティブな Web 教材は、Adobe 社の Flash CS5 を用いて作成されており、Android 系のモバイル情報端末でも利用できる。各ユニットには、その課の TOEIC 演習問題のスクリプトのなかで問題となる音声変化の部分を事前にディクテーションしながらタイピング入力して解答を確認したり音読練習ができる Warming Up コーナーを設け、本番の TOEIC 演習に取り組む前に十分な音声練習ができるよう配慮した。また、Part 4 Short Talk の問題スクリプトを用いた短いチャンク単位での音読画面では、150 wpm で音読できると GOLD メダルが授与される等の工夫が施され、楽しく自律学習ができると同時に、授業での教材音声提示機能の側面も担っている。なお、このメダル授与機能は、湯舟、峯(2010) で開発した機能を踏襲しており、その速読とリスニング能力における学習効果は、湯舟(2012)、湯舟、峯(2011) で報告されている。

以下は、Web 教材の画面例：


【実用化・活用が見込まれる分野・対象業種等】
【関連特許】(特許名称・出願番号等)